



Professional Mixing Controller

PMC-007

取扱説明書

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-007 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

ご使用上の注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
各部の名称と機能	4
トップパネル	5
フロントパネル	7
リアパネル	8
フェーダーユニットの交換	9
スイッチユニットの交換	10
接続例	11
主な仕様	11
故障かな?と思ったら	12
保証、アフターサービスについて	12

ご使用上の注意

電源について

雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

修理について

お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方(スクラッチプレイ)でご使用になった場合等をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろの絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいませよう願致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。



警告



電源プラグをコンセントから抜け

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となります。

電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。

5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。



調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

各プログラムチャンネルに3band(HI、MID、LOW)のアイソレーターを搭載しています。音楽ソースに合わせ、細かいセッティングが可能となる他、アイソレーター効果の特徴として各帯域(HI、MID、LOW)の音を完全にカットできますので、演奏時のパフォーマンスの幅が広がります。

各プログラムチャンネルに、スクラッチパフォーマンス時に便利なスクラッチEQスイッチを搭載しています。このスイッチを入れることにより、EQ特性が瞬時にスクラッチ専用サウンドに切り替わり、しかも3bandアイソレーターでの微調整が可能になります。

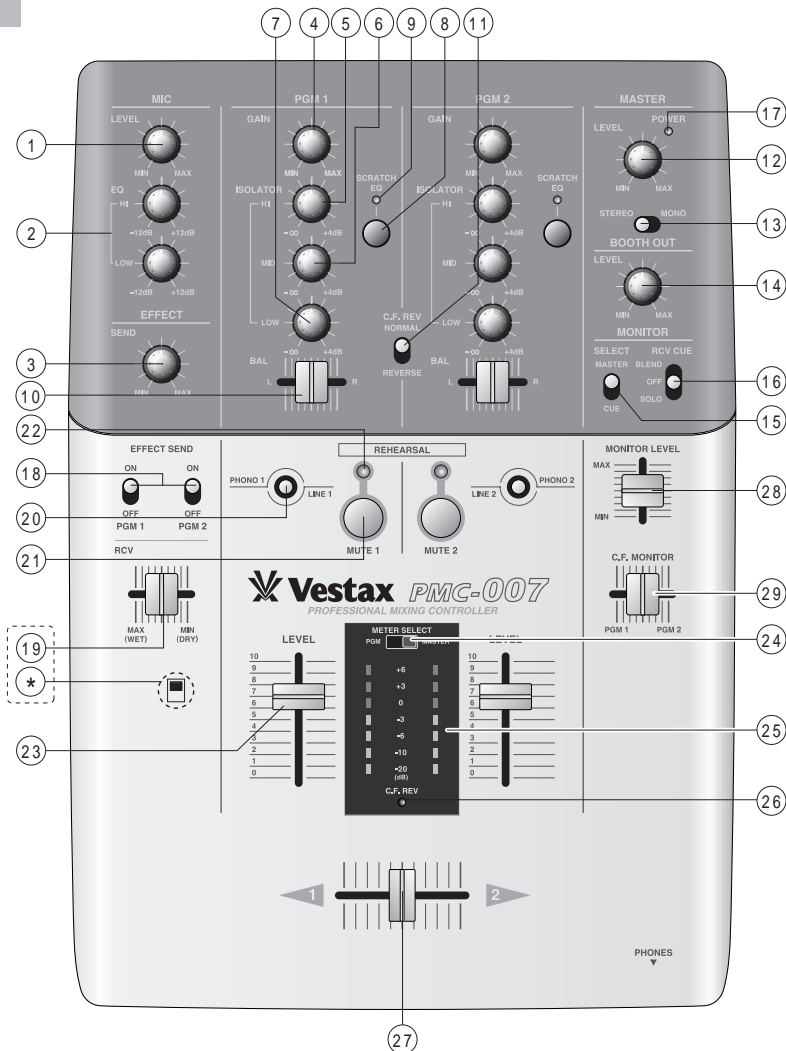
インプットセレクトスイッチには、IS-05Pro を採用しています。従来のスイッチよりも耐久性が向上されました。EFFECT SEND/RECEIVE機能を装備しています。ディレイ等のエフェクターを接続することにより、スクラッチの音にもエフェクトを効かせることができます。

新設計のリハーサルモニターシステムを採用しています。従来、MASTER出力には影響を与えずに、ヘッドフォンを使ったモニターリングだけでフェードイン / カットのリハーサルをする時は、CFモニターフェーダーを使用していましたが、リハーサルモニターシステムの採用により、各プログラムチャンネルに設けたMUTEスイッチを使用することで、MASTER出力に影響を与えずにクロスフェーダーそのものを使ってリハーサルをすることが可能となりました。

新設計のフェーダーデタッチャブル機構を採用しています。この機能の採用により、DJミキサーに一番重要なクロスフェーダー及びインプットフェーダーの取り付け、取り外しがドライバー等を使わずに容易にできるようになりました。

各部の名称と機能

トップパネル



- ① MIC LEVEL(マイクレベル)ボリューム
MIC入力ジャック③⑤に接続されたマイクの音量を調節します。
- ② MIC EQ(マイクイコライザー)HI/LOW
マイクの音質を調節します。
- ③ SEND LEVEL(センドレベル)ボリューム
EFFECT SENDジャック③⑧から出力する信号のレベルを調節します。
- ④ GAIN(ゲイン)ボリューム
各プログラムチャンネルの入力レベルを調節し、INPUT LEVELボリューム②③に送られる信号レベルを一定にするために使用します。
- ⑤ PGM ISOLATOR HI(アイソレーター)ボリューム
高音域帯のみの音量をブースト / カットするボリュームです。左に回すと高音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットな状態です。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするとき等に使用します。
- ⑥ PGM ISOLATOR MID(アイソレーター)ボリューム
中音域帯のみの音量をブ - スト / カットするためのボリュームです。左に回すと中音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。ボーカルソースやメロディソースをカットして、リズムソースを強調するとき等に使用します。
- ⑦ PGM ISOLATOR LOW(アイソレーター)ボリューム
低音域帯のみの音量をブースト / カットするボリュームです。左に回すと低音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出すとき等に使用します。
- ⑧ SCRATCH EQ(スクラッチイコライザー)スイッチ
内蔵のスクラッチ専用イコライザー回路に信号を通すか、通さないかを選択します。このスイッチがONの時、LEDが点灯し、スクラッチイコライザー回路を通った信号が出力されます。
- ⑨ SCRATCH EQ(スクラッチイコライザー)インジケータ
SCRATCH EQスイッチ⑧がONの時、点灯します。
- ⑩ PGM BALANCE(バランス)ボリューム
各プログラムチャンネルの信号のL/Rバランスを調節します。
- ⑪ C.F. REVERSE(クロスフェーダーリバース)スイッチ
スイッチをREVERSEに切り替えると、クロスフェーダー⑦の左右が反転され、クロスフェーダーのツマミを一番左側にするとPGM-2のみの音声、一番右ではPGM-1の音声のみが出力されます。この時、C.F. REVERSEインジケータ⑨が点灯します。
- ⑫ MASTER LEVEL(マスターレベル)ボリューム
MASTER OUTジャック④①/④②から出力されるレベルを調節します。
- ⑬ STEREO/MONO(ステレオ / モノラル)セレクトスイッチ
MASTER OUTジャック④①/④②から出力される音声をステレオで出力するか、モノラルで出力するかを選択します。モノラルのときはL及びRの出力は全く同じ音声が出力されます。
- ⑭ BOOTH LEVEL(ブースレベル)ボリューム
BOOTH OUTジャック④⑩から出力されるレベルを調節します。
- ⑮ MONITOR SELECT(モニターセレクト)スイッチ
ヘッドフォンでモニターする信号(CUEもしくはMASTER)を切り替えます。CUE側では各プログラムチャンネルの信号(EQで調整された信号)がモニターできます。その際C.F. MONITOR②⑨で切り替えられた信号(PGM-1もしくはPGM-2)がモニターできます。(MUTE SW OFF時)MASTER側ではMASTER OUTジャック④①/④②から出力される信号がモニターできます。この時、C.F. MONITORは無効になります。
- ⑯ RECEIVE CUE(レシーブキュー)スイッチ
EFFECT RCVジャック③⑨から入力された信号(RCV音)をヘッドフォンから出力するかどうかを設定します。また、スイッチは以下のように切り替わります。
BLEND : MASTER音 + RCV音
OFF : MASTER音のみ
SOLO : RCV音のみ

注 意

MONITOR SELECTスイッチ⑮をMASTER側に切り替えていないとRCV音はヘッドフォンから出力されません。

- ⑰ POWER(パワー)インジケータ
POWERスイッチ④④がON時に点灯します。
- ⑱ EFFECT SEND ON/OFF(センド オン/オフ)スイッチ
EFFECT SENDジャック③⑧に接続した外部エフェクターに各プログラムチャンネルの信号を送るかどうかを設定します。
- ⑲ AUX RECEIVE(レシーブ)ボリューム
EFFECT RCVジャック③⑨から入力される信号のレベルを調節します。
* AUX RECEIVE SELECT(レシーブセレクト)スイッチ
トップパネル下のスイッチで、機能を切り替えることができます。スイッチOFF(出荷設定時)のときはEFFECT RCVジャックから入力された信号(RCV音)のレベルのみを調節し、スイッチONのときはRCV音とMASTER OUTの音のバランス調節ボリュームへと切り替わります。トップパネルの外し方については、9ページの“フェーダーユニットの交換”をご参照下さい。

⑳ PHONO/LINE(フォノ/ライン)セレクター

各プログラムチャンネルに入力する信号PHONO及びLINE)を選択します。セレクターを切り替えることにより、PHONO入力ジャック、LINE入力ジャックに接続された機器のどちらの信号を入力するかを選択できます。また、セレクターの取付け角度を変更することが可能です。

注 意

PHONO/LINEセレクター⑳に消耗が生じた場合等は、別売りの交換用インプットセレクトスイッチユニット"IS-05Pro"に交換することができます。交換の仕方は10ページ"スイッチユニットの交換"をご参照下さい。

㉑ REHEARSAL MUTE(リハーサルミュート)スイッチ

押されたスイッチのプログラムチャンネルの出力音(MASTER OUTからの出力音のみ)を消音(ミュート)します。このとき、クロスフェーダー㉑がC.F. MONITOR㉒の役割をするようになり、C.F. MONITOR及びクロスフェーダーの通常の機能はキャンセルされます。

従って、C.F. MONITORを動かしてもヘッドフォンから出力される音は変化せず、同様にクロスフェーダーを動かしてもMASTER OUTから出力される音は変化しません。

MUTE1がON(点灯)MUTE2がOFF(消灯)のとき:

スピーカーからはクロスフェーダーの位置にかかわらず、PGM2の音出力されます。(注意: PGM2のIFが下がっていると出力されません。)ヘッドフォンからはクロスフェーダーの位置に応じたチャンネルの音出力されます。

MUTE1がOFF(消灯)MUTE2がON(点灯)のとき:

スピーカーからはクロスフェーダーの位置にかかわらず、PGM1の音出力されます。(注意: PGM1のIFが下がっていると出力されません。)ヘッドフォンからはクロスフェーダーの位置に応じたチャンネルの音出力されます。

MUTE1がON(点灯)MUTE2がON(点灯)のとき:

スピーカーからはクロスフェーダーの位置にかかわらず、PGM1及び2の音、いずれも出力されません。ヘッドフォンからはクロスフェーダーの位置に応じたチャンネルの音出力されます。

㉒ MUTEインジケータ

MUTEスイッチ㉑がONの時に点灯します。

㉓ INPUT LEVEL(インプットレベル)ボリューム

各プログラムチャンネルの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、別売の交換用インプットフェーダーユニット"IF-RX"に交換して下さい。なお、交換は9ページ"フェーダーユニットの交換"をご参照下さい。

㉔ レベルメーター表示切り替えスイッチ

レベルメーターの表示(MASTER LEVELもしくはPGM LEVEL)を切り替えます。PGM LEVEL側では各プログラムチャンネルのレベルが表示され、MASTER LEVEL側ではMASTER OUTジャック㉔/㉕から出力される信号のL ch及びR chのレベルが別々に表示されます。

㉕ LEDレベルメーター

MASTER OUTもしくは各チャンネルの信号レベルを表示します。

㉖ C.F. REVERSE(クロスフェーダーリバース)インジケータ

C.F. REVERSEスイッチ㉖をREVERSEに切り替えると点灯します。

㉗ CROSSFADER(クロスフェーダー)

PGM-1とPGM-2のMIXバランスを調節します。C.F. REVERSEスイッチ㉖がNORMALの時、クロスフェーダーのつまみを一番左側にするとPGM-1のみの音出力され、右側に動かすに従いPGM-2の音出力されます。クロスフェーダーを動かした時にノイズが目立つようになった場合は、別売の交換用クロスフェーダーユニット"CF-RX"に交換して下さい。なお、交換は9ページ"フェーダーユニットの交換"をご参照下さい。

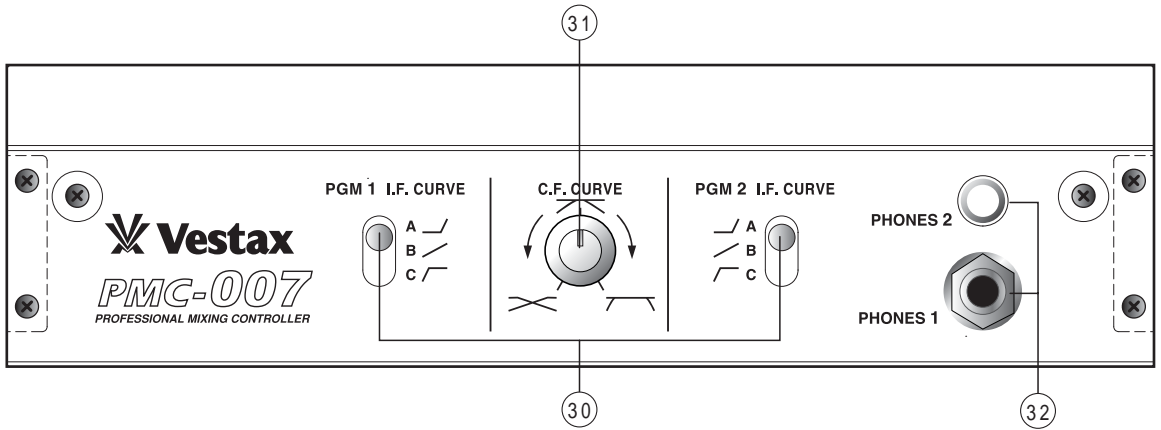
㉘ MONITOR LEVEL(モニターレベル)ボリューム

ヘッドフォンから出力される音量を調節します。

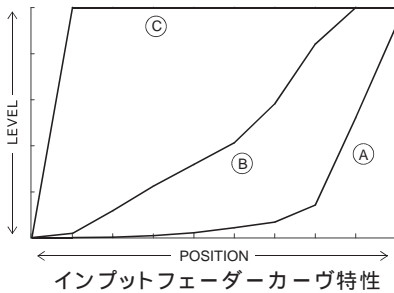
㉙ C.F. MONITOR(モニタークロスフェーダー)

MONITOR SELECTスイッチ㉙をCUE側にした際、クロスフェーダーのようにPGM-1とPGM-2の信号を切り替え、調節します。(MUTE SW OFF時)

フロントパネル

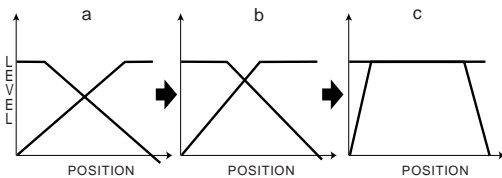
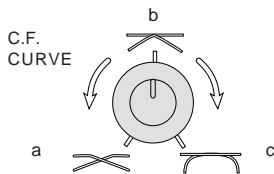


- ③① I.F. CURVE(インプットフェーダーカーヴ)スイッチ
インプットフェーダーをMINからMAXにスライドすると同時に音量が変化します。その音量変化の具合(フェーダーカーヴ)を3段階で切り替えます。



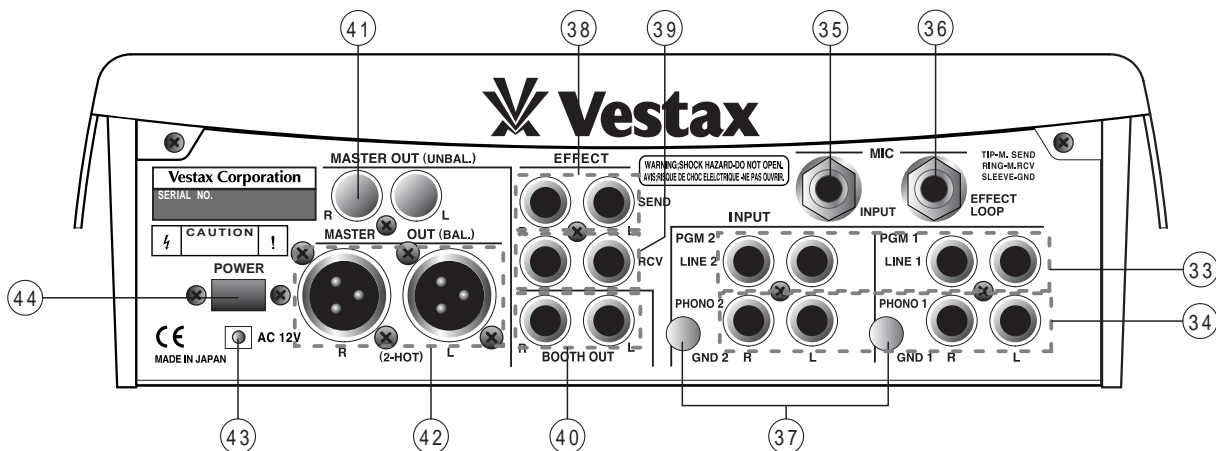
- ③② HEADPHONE (ヘッドフォン) ジャック
MONITOR LEVELボリューム②⑧でレベル調節された信号が出力されます。ヘッドフォンのプラグを差し込んで下さい。PHONES1は 6.3標準ステレオプラグ、PHONES2は 3.5mmステレオミニプラグに対応しています。

- ③③ C.F. CURVE (クロスフェーダーカーヴ)
クロスフェーダーを左右にスライドした際の音量変化の具合(フェーダーカーヴ)を切り替えます。

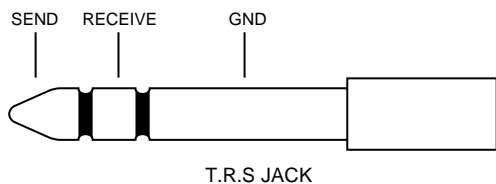


ボリュームを時計方向にまわすと a b c と変化します。
クロスフェーダーカーヴ特性

リアパネル



- ③③ LINE(ライン)入力ジャック【RCA PIN JACK】
CDプレーヤーやMD、テープデッキ等のライン出力端子に接続します。
- ③④ PHONO(フォノ)入力ジャック【RCA PIN JACK】
ターンテーブルを接続します。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。なお、MCタイプのカートリッジをご使用の場合は別売のヘッドアンプが必要になります。
- ③⑤ MIC(マイク)入力ジャック【6.3 PHONE JACK】
マイクを接続します。6.3標準モノラルプラグに対応しています。
- ③⑥ MIC SEND / RCV(マイク送/レシーブ)ジャック【TRS PHONE JACK】
マイク専用モノラルエフェクター等の機器と接続します。このジャックに接続するためには下図の仕様のプラグ、ケーブルが必要になります。
- TIP: MIC SEND出力
RING: MIC RECEIVE入力
SLEEVE: アース
- ④① MASTER OUT(ラインアウト)ジャック【RCA PIN JACK(UNBALANCED)】
MASTER LEVELボリューム⑫でレベル調節された信号が出力されます。RCAピン(アンバランス出力)プラグに対応しています。
- ④② MASTER OUT(マスターアウト)ジャック【XLR JACK(BALANCED); 2PIN HOT】
MASTER LEVELボリューム⑫でレベル調節された信号が出力されます。XLRプラグ(バランス出力、2PIN HOT)に対応しています。
- ④③ AC INジャック
専用の電源アダプター(Vestax AC-12A)を接続して下さい。



注意

本機のMASTER OUTジャックからお手持ちのアンプに接続する際は、TAPE、AUX、MD、DATといった入力端子に接続して下さい。"PHONO"入力端子はレコードプレーヤー専用で、専用の回路が内蔵されていますので、そこに接続すると音が割れたり、歪んだりします。それだけでなく、アンプ、スピーカーの破損の原因となりますのでご注意ください。

注意

Vestax AC-12A以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。その場合、保証しかねますのでご了承下さい。

- ④⑦ GND(グランド)端子
各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。
- ④⑧ EFFECT SEND(送)ジャック【RCA PIN JACK】
エフェクター等の外部機器のライン入力端子と接続します。RCAピン(アンバランス出力)プラグに対応しています。
- ④⑨ EFFECT RCV(レシーブ)ジャック【RCA PIN JACK】
エフェクター等の外部機器のライン出力端子と接続します。RCAピン(アンバランス出力)プラグに対応しています。
- ④⑩ BOOTH OUT(ブースアウト)ジャック【RCA PIN JACK(UNBALANCED)】
BOOTH LEVELボリューム⑭でレベル調節された信号が出力されます。RCAピン(アンバランス出力)プラグに対応しています。
- ④④ POWER(パワー)スイッチ
本機の電源のON/OFFスイッチです。電源がONの時、POWERインジケータ⑰が点灯します。

注意

このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合破損する恐れがありますので、ご注意ください。

フェーダーユニットの交換

フェーダーの交換

IF-RX・CF-RXへの交換

- ① 図aのように、フェーダーボリュームのツマミ(6箇所)を取り外して下さい。
- ② 図bのように、本体裏側のツマミを左側に回し、ゆるめた後で矢印の方向へ押し上げて下さい。
- ③ 図cのように、トップパネルの両側を持ち、上へ引き上げ、外します。
- ④ 図dのように、交換するインプットフェーダー・クロスフェーダーの両端にあるシルバーの金具の部分の内側へ押ししながら上へ引き上げます。
- ⑤ 図eのように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクタを引張って取り外して下さい。
- ⑥ 新しいフェーダーユニットのノブを外して下さい。
- ⑦ 新しいフェーダーユニットと交換し、取り外しの時と逆の手順で取り付けして下さい。

図 a

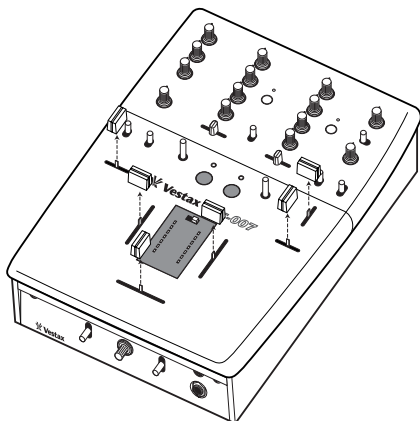
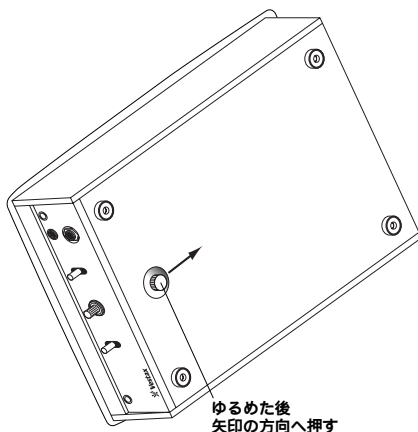


図 b



注意

フェーダーを交換する際は、フェーダーユニットの取付方向にご注意下さい。

インプットフェーダー：コネクター部分を左側にして取付けて下さい。

クロスフェーダー：コネクター部分を上側にして取付けて下さい。

図 c

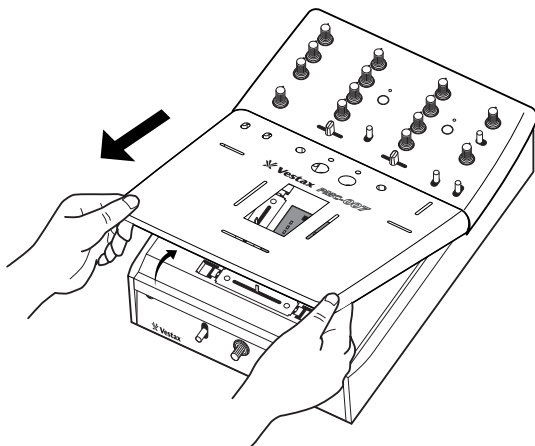


図 d

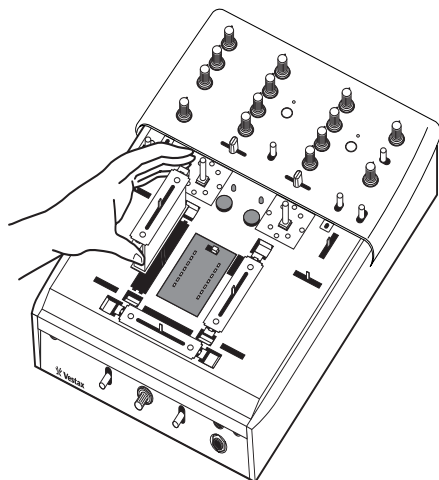
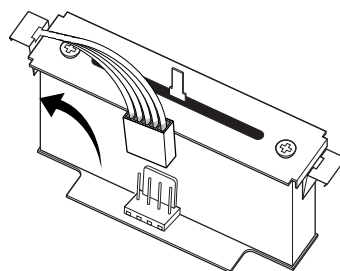


図 e 例：クロスフェーダーユニット (CF-RX)



スイッチユニットの交換

スイッチの交換

- ① 9ページ“フェーダーユニットの交換”の ~ と同じ要領でトップパネルを外します。
- ② 図fのようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットごと上へ持ち上げて下さい。
- ③ 図gのようにスイッチユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取り外して下さい。(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。)
- ④ 新しいスイッチユニットと交換し、 の手順で元に戻して下さい。

スイッチ方向の変更

- ① 図fのようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットを上へ持ち上げて下さい。
- ② スイッチの向きを好みの位置に設定し、ネジで固定して下さい。
- ③ トップパネルを元の状態に戻して下さい。

図 f

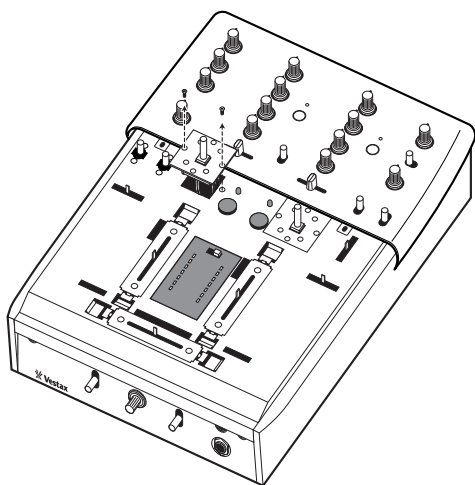
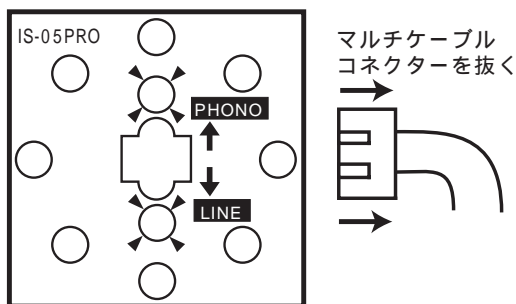


図 g

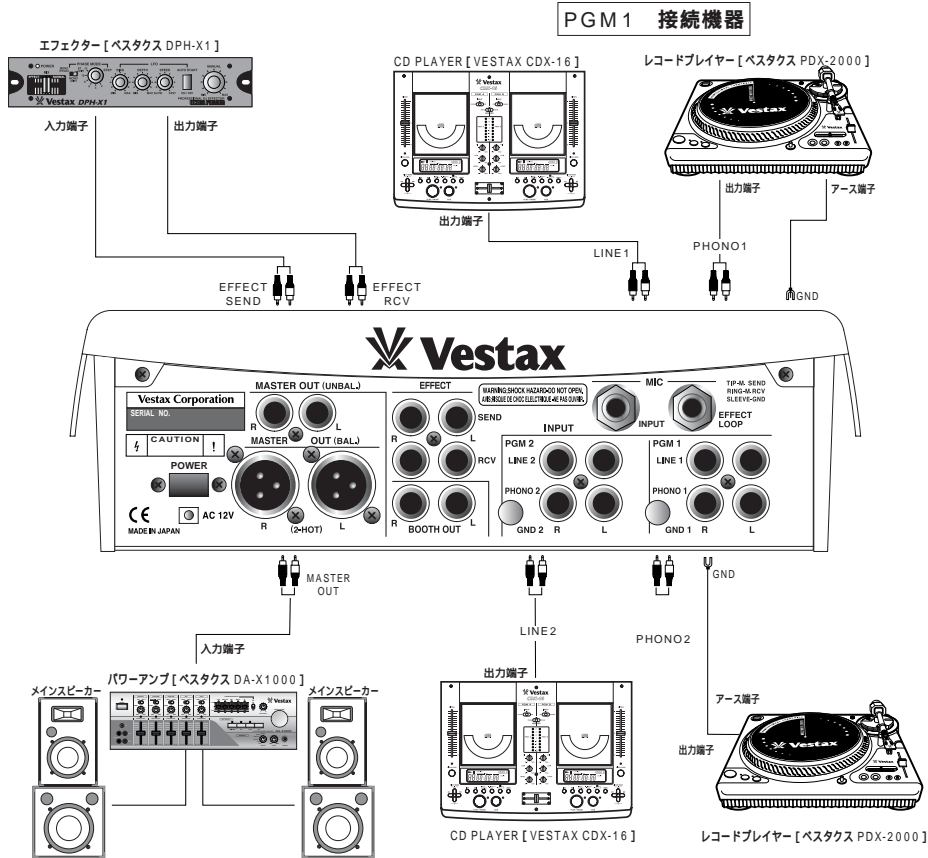


インプットセレクトスイッチユニット (IS-05PROII)

注意

- ・フェーダー及びスイッチを交換する際は、安全のため電源をお切り下さい。ノイズが出たり、ショートする場合があります。
- ・ドライバーをご使用になる際は、サイズの合ったものをご使用下さい。ドライバーのサイズが合わないと、ネジを破損させてしまう恐れがあります。

接続例



主な仕様

		定格入力レベル	最大入力レベル	インピーダンス
入力部	MIC (6.3 PHONE JACK)	-50.0dBv	-32.0dBv	3.3k
	PHONO 1.2L / R (RCA PIN JACK)	-46.0dBv	-22.4dBv	56k
	LINE 1.2L / R (RCA PIN JACK)	0dBv	+14dBv	16k
	EFFECT RCY (RCA PIN JACK UNBALANCED)	0dBv	+14dB	42k
	MIC RCY (TRS PHONE JACK-RING PIN)	0dBv	+14dB	69k
アイソレーター	HI		10kHz - ~ +4dB	
	MID		1kHz - ~ +4dB	
	LOW		80Hz - ~ +4dB	
出力部		定格出力レベル	最大出力レベル	インピーダンス
	MASTER1 L / R (RCA PIN JACK UNBALANCED)	0dBv	+14.5dBv	10k OVER
	MASTER2 L / R (XLR BALANCED)	+4dBv	+14.5dBv	10k OVER
	BOOTH L / R (RCA PIN JACK UNBALANCED)	0dBv	+14.5dBv	10k OVER
	EFFECT SEND L / R (RCA PIN JACK UNBALANCED)	0dBv	+14.5dBv	10k OVER
	HEAD PHONE (6.3 PHONE JACK)	(47 LORD 130mW)		8 ~ 600
MIC SEND (TRS PHONE JACK-TIP PIN)	0dBv	+11.4dBv	10k OVER	
周波数特性	MIC	30Hz ~ 20kHz ± 3dB	クロスフェーダー・クロストーク	> 65dB
	LINE	20Hz ~ 20kHz ± 1dB	チャンネル・クロストーク	> 75dB
S/N比	MIC	> 60dB	電源方式	AC-12V ADAPTOR 1000mA
	LINE	> 75dB	サイズ (W × H × D)	260 × 92 × 370 (mm)
消費電力	12W	重量	4.0kg	

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ/オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SELECTスイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていないですか。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整がMINになっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルをPMC-007本体のLINE INPUTに接続していませんか。	PMC-007本体のPHONO INPUTに接続し直す。
	レコードプレイヤーのカートリッジに、MCタイプを使用していないですか。	カートリッジをMMタイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-007の出力を、プリメインアンプのPHONO入りに接続していませんか。	プリメインアンプのAUX等の入りに接続し直す。
	出力レベル高いCD、MDプレイヤー等を接続していませんか。	PMC-007のGAIN ヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線をPMC-007本体のGNDターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クロスフェーダーユニットCF-RXをご購入ください。)

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () -